

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	都市計画課	職	課長	氏名	宮田 正弘
評価者	組織	都市計画課	職	課長	氏名	竹俣 隆一

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	いしかわ景観総合条例による美しい景観の保全と創出	1 景観形成のための協定を締結した地区数	地区	100 (H27)	114 (H24)	127 (H25)	A
		2 景観形成重要地域の指定箇所数	地区	11 (H27)	11 (H24)	12 (H25)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題						課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
					(年度)	(年度)						
施策1	課題1 地域特性に応じた景観形成の取り組みへの支援と良好な景観に対する意識の醸成	1 景観形成のための協定を締結した地区数	地区	100 (H27)	114 (H24)	127 (H25)	1 景観形成推進費	全県民	13,471	5,731	A	継続
		2 景観形成重要地域の指定箇所数	地区	11 (H27)	11 (H24)	12 (H25)	2 美しい石川の景観づくり推進費	全県民	9,327	8,008	A	継続

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 景観形成推進費	事業開始年度 H19	事業終了予定年度
	根拠法令・計画等	景観法、いしかわ景観総合条例

作組	織	都市計画課 景観形成推進室
成職	氏名	課長補佐 塩浦 晃
者電	話番号	076 - 225 - 1759 内線 5221

事業の背景・目的
 石川県には、霊峰白山、美しい能登、加賀の海岸などの自然景観、歴史的・伝統的な町並みの景観など、様々な景観がある。この魅力ある景観を、県民が誇れる財産として守り、受け継ぎ、また一方で、新たな景観を作り、石川県の魅力を更に高める取り組みを進めていくため、全国で初めて景観と広告物の条例を一本化した「いしかわ景観総合条例」に基づき、総合的かつ強力で景観施策の展開を行う。

事業の概要

H20 **いしかわ景観総合条例の制定**

本県独自の理念や施策を盛り込み、景観施策を総合的かつ強力で推進するための拠り所となる全国初の条例

1. 市町を超えた広域的な景観づくりを推進、地域特性に応じた規制・誘導
2. 眺望景観の保全
3. 屋外広告物施策との一体的な推進
4. 里山景観等の保全・再生
5. 新たな景観形成手法の導入
6. 官民協働の推進体制の充実

↓

H21～H22 条例施行から「実行」へ、着実な景観づくりを推進

↓

H23～ 景観づくりの更なる推進

H25

官民協働によるエコサイン設置
… 10,971千円
企業広告と観光案内板とを一体とした集合広告看板(エコサイン)を官民協働で設置・管理・運営する。

住民主体の取り組み支援
… 2,500千円
地域特性を生かした景観形成に取り組む地域を積極的に支援し、官民協働での取り組みを推進する。

景観づくりセミナー等の開催
… 5,327千円
景観づくりを担う人材育成と県民意識啓発のため、景観教室の開催やアドバイザー派遣等を実施する。

能登の里山里海景観の保全
… 4,000千円
「世界農業遺産」認定を契機として、能登の里山里海の優れた景観を保全する取り組みを推進する。

これまでの見直し状況 特になし。

施策・課題の状況

施策	いしかわ景観総合条例による美しい景観の保全と創出	評価	
課題	地域特性に応じた景観形成の取り組みへの支援と良好な景観に対する意識の醸成		
指標	景観形成のための協定を締結した地区数	単位	地区
目標値	現状値		
平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
平成24年度	平成25年度		
100	73	76	100
			114
			127
指標	景観形成重要地域の指定箇所数	単位	地区
目標値	現状値		
平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
平成24年度	平成25年度		
11	10	10	10
			11
			12

事業費

	(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算	16,500	17,171	17,471	16,071	13,471
	決算	15,737	15,252	16,218	14,400	5,731
一般	予算	10,000	6,671	5,971	4,971	3,971
	決算	11,050	4,752	4,718	3,100	809
事業費累計		28,421	43,673	59,891	74,291	80,022

評価

	項目	評価
		左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	屋外広告物の規制誘導のあり方を検討するなどの施策により、良好な景観形成の推進に寄与している。
	継続	今後も、良好な景観が形成されるよう、屋外広告物の規制誘導のあり方の検討などを継続して取り組んでいくこととする。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 美しい石川の景観づくり推進費	事業開始年度	H19	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	景観法、いしかわ景観総合条例		

作組	織	都市計画課 景観形成推進室			
成職	氏名	課長補佐 塩浦 晃			
者電	話番号	076 - 225 - 1759 内線 5221			

事業の背景・目的
 石川県には、霊峰白山、美しい能登、加賀の海岸などの自然景観、歴史的・伝統的な町並みの景観など、様々な景観がある。この魅力ある景観を、県民が誇れる財産として守り、受け継ぎ、また一方で、新たな景観を作り、石川県の魅力を更に高める取り組みを進めていくため、全国で初めて景観と広告物の条例を一本化した「いしかわ景観総合条例」に基づき、総合的かつ強力で景観施策の展開を行う。

事業の概要

H20

いしかわ景観総合条例の制定

本県独自の理念や施策を盛り込み、景観施策を総合的かつ強力で推進するための拠り所となる全国初の条例

1. 市町を超えた広域的な景観づくりを推進、地域特性に応じた規制・誘導
2. 眺望景観の保全
3. 屋外広告物施策との一体的な推進
4. 里山景観等の保全・再生
5. 新たな景観形成手法の導入
6. 官民協働の推進体制の充実

↓

H21～H22 条例施行から「実行」へ、着実な景観づくりを推進

↓

H23～ 景観づくりの更なる推進

H25

官民協働によるエコサイン設置
… 10,971千円
企業広告と観光案内板とを一体とした集合広告看板(エコサイン)を官民協働で設置・管理・運営する。

住民主体の取り組み支援
… 2,500千円
地域特性を生かした景観形成に取り組む地域を積極的に支援し、官民協働での取り組みを推進する。

景観づくりセミナー等の開催
… 5,327千円
景観づくりを担う人材育成と県民意識啓発のため、景観教室の開催やアドバイザー派遣等を実施する。

能登の里山里海景観の保全
… 4,000千円
「世界農業遺産」認定を契機として、能登の里山里海の優れた景観を保全する取り組みを推進する。

これまでの見直し状況 特になし。

施策・課題の状況					
施策	いしかわ景観総合条例による美しい景観の保全と創出	評価			
課題	地域特性に応じた景観形成の取り組みへの支援と良好な景観に対する意識の醸成				

	指標	景観形成のための協定を締結した地区数	単位	地区		
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	100	73	76	100	114	127

	指標	景観形成重要地域の指定箇所数	単位	地区		
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	11	10	10	10	11	12

事業費						
	(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算	7,523	7,000	6,037	9,829	9,327
	決算	6,025	5,135	4,379	9,387	8,008
一般	予算	6,523	6,000	5,238	9,029	8,527
	決算	5,025	4,135	3,580	8,587	7,208
事業費累計		29,546	34,681	39,060	48,447	56,455

評価	
項目	評価

		左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	景観づくりセミナー等を開催することにより、景観に関する県民意識の醸成に寄与している。また、地区住民の景観保全への気運が高まったことから「奥のと里海 日置」の景観形成重点地区指定を行い、地域資源を活用した取り組みを後押しし、更なる活性化に繋げている。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	景観に関する意識の醸成を図るため、引き続き景観づくりセミナー等を開催し、また、世界農業遺産に認定されている優れた能登の里山里海景観を保全する取り組みを推進する。